

「ぐんま・県土整備プラン2020」の指標の進捗状況（令和4年度末時点）

資料2

- 指標の令和4年度末の目標値に対する進捗状況については、44指標中41指標が達成若しく前進となった。
- 新型コロナウイルス感染症等の影響で遅延となった指標についても、多くの指標は大幅に遅れが生じている状況ではないことから、令和5年度以降、これらの指標の計画的な進捗に向けて、しっかりと取り組んで参りたい。

1. 指標進捗の評価区分について

動向の区分	説明
達成 ◎	令和4年度末時点の目標値を達成し、順調に進捗している指標
前進 ○	令和4年度末時点の目標値を概ね達成している指標
遅延 ▲	令和4年度末時点の目標値に対して、10%以上の遅れが生じている指標

2. 指標の進捗状況について

達成 ◎		前進 ○		遅延 ▲		合計	
項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合
33	75.0%	8	18.2%	3	6.8%	44	100.0%

3. 各指標の進捗状況（全44指標）

番号	指標	初期値	現状値 (最新値)	左記の 目標値	評価	目標値	備考
政策1 災害レジリエンスNo.1の実現							
施策1 緊急水害アクション（3か年緊急レジリエンス戦略）							
1	令和元年東日本台風で越水・溢水が生じた河川の堤防高上げの整備率	0% (R元年度末)	69% (R4年度末)	100% (R4年度末)	▲	100% (R4年度末)	
施策2 重点水害アクション（5か年重点レジリエンス戦略）							
2	甚大な被害が想定される利根川ほか5河川（5区間）の河川改修等の整備率	0% (R元年度末)	17% (R4年度末)	17% (R4年度末)	◎	100% (R6年度末)	
3	危機管理型水位計の整備率（県内全対象河川・339河川）	41% (R元年度末)	98% (R4年度末)	79% (R4年度末)	◎	100% (R6年度末)	
4	河川監視カメラの整備率（県内全対象河川・339河川）	11% (R元年度末)	87% (R4年度末)	55% (R4年度末)	◎	100% (R6年度末)	
施策3 防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）							
5	河川整備計画に基づく河川整備延長	39.4Km (R元年度末)	45.7Km (R4年度末)	46.2Km (R4年度末)	◎	62.7Km (R11年度末)	
6	土砂災害対策推進計画に基づく重点対策箇所の整備率	2% (R元年度末)	30% (R4年度末)	29% (R4年度末)	◎	100% (R11年度末)	
7	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの整備率	83% (R元年度末)	83% (R4年度末)	83% (R4年度末)	◎	94% (R11年度末)	
8	緊急輸送道路における落石等対策の進捗率	77% (R元年度末)	90% (R4年度末)	92% (R4年度末)	◎	100% (R11年度末)	
9	水害リスクが軽減される人家戸数	8,819戸 (R元年度末)	10,486戸 (R4年度末)	10,695戸 (R4年度末)	◎	35,400戸 (R11年度末)	
10	水害リスクが軽減される産業団地数	1団地 (R元年度末)	1団地 (R4年度末)	1団地 (R4年度末)	◎	11団地 (R11年度末)	
11	土砂災害リスクが軽減される人家戸数	約18,000戸 (R元年度末)	18,952戸 (R4年度末)	19,057戸 (R4年度末)	◎	約21,600戸 (R11年度末)	
12	土砂災害リスクが軽減される要配慮者利用施設数	71施設 (R元年度末)	93施設 (R4年度末)	86施設 (R4年度末)	◎	116施設 (R6年度末)	
13	土砂災害リスクが軽減される避難所数	71施設 (R元年度末)	91施設 (R4年度末)	85施設 (R4年度末)	◎	135施設 (R6年度末)	
14	防災・物流拠点集積エリア間の道路ネットワークの強靱化率	80% (R元年度末)	80% (R4年度末)	80% (R4年度末)	◎	100% (R11年度末)	
施策4 避難のサポート（中長期レジリエンス戦略）							
15	水害に係る要配慮者利用施設の避難確保計画策定の進捗率	67% (R元年度末)	100% (R4年度末)	100% (R3年度末)	◎	100% (R3年度末)	
16	水害に係るマイ・タイムライン作成支援の進捗率	0% (R元年度末)	22% (R4年度末)	19% (R4年度末)	◎	100% (R11年度末)	
17	土砂災害警戒区域等の見直しの進捗率	2巡目	38% (R元年度末)	100% (R3年度末)	◎	100% (R3年度末)	
		3巡目	0% (R2年度末)	0% (R4年度末)		0% (R4年度末)	
18	土砂災害に係る要配慮者利用施設の避難確保計画策定の進捗率	62% (R元年度末)	100% (R4年度末)	100% (R3年度末)	◎	100% (R3年度末)	
19	水害により人的被害が発生した要配慮者利用施設数	0施設 (R元年度)	0施設 (R4年度末)	0施設 (R4年度末)	◎	0施設 (R11年度)	
20	土砂災害による死者数	4人 (R元年度)	0人 (R4年度末)	0人 (R4年度末)	◎	0人 (R11年度)	
政策2 持続可能で効率的なメンテナンス							
施策1 予防保全に基づく長寿命化							
21	長寿命化計画に基づく横断歩道橋補修の進捗率	0% (R元年度末)	87% (R4年度末)	58% (R4年度末)	◎	100% (R6年度末)	
22	長寿命化計画に基づくトンネル補修の進捗率	0% (R元年度末)	100% (R4年度末)	64% (R4年度末)	◎	100% (R6年度末)	

番号	指標	初期値	現状値 (最新値)	左記の 目標値	評価	目標値	備考
23	長寿命化計画に基づく舗装補修の進捗率	0% (R元年度末)	82% (R4年度末)	61% (R4年度末)	◎	100% (R6年度末)	
24	長寿命化計画に基づく道路橋補修の進捗率	0% (R元年度末)	86% (R4年度末)	84% (R4年度末)	◎	100% (R6年度末)	
25	長寿命化計画に基づく河川構造物補修の進捗率	0% (R元年度末)	79% (R4年度末)	79% (R4年度末)	◎	100% (R6年度末)	
26	長寿命化計画に基づく砂防関係施設補修の進捗率	0% (R元年度末)	64% (R4年度末)	64% (R4年度末)	◎	100% (R6年度末)	
27	長寿命化計画に基づく都市公園（遊具・建築物）補修の進捗率	0% (R元年度末)	50% (R4年度末)	50% (R4年度末)	◎	100% (R6年度末)	
28	長寿命化計画に基づく下水道施設補修の進捗率	0% (R元年度末)	77% (R4年度末)	73% (R4年度末)	◎	100% (R6年度末)	
29	長寿命化計画に基づく県営住宅補修の進捗率	0% (R元年度末)	59% (R4年度末)	65% (R4年度末)	◎	100% (R6年度末)	
政策3 多様な移動手段の確保							
施策1 公共交通網の整備・維持							
30	公共交通（鉄道・乗合バス）の利用者数	6,308万人 (H30年度)	4,810万人 (R3年度)	6,308万人の維持 (R3年度)	▲	6,308万人の維持 (R11年度)	政策5施策3に再掲
施策2 自動車交通網の整備							
31	高速交通網を補完する広域道路ネットワークの整備率	84% (R元年度末)	86% (R4年度末)	86% (R4年度末)	◎	96% (R11年度末)	
32	主要渋滞箇所の対策率	29% (R元年度末)	33% (R4年度末)	34% (R4年度末)	◎	49% (R11年度末)	
33	インターチェンジから15分圏域の県人口カバー率	76% (R元年度末)	76% (R4年度末)	76% (R4年度末)	◎	80% (R11年度末)	
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備							
34	通学路の歩道整備率	85% (R元年度末)	84% (R4年度末)	84% (R4年度末)	◎	100% (R11年度末)	
35	中高生の通学経路における自転車通行空間の整備率	13% (R元年度末)	82% (R4年度末)	47% (R4年度末)	◎	100% (R11年度末)	
36	高校生の自転車用ヘルメットの着用率	7% (H30年度)	54% (R4年度末)	18% (R4年度末)	◎	100% (R11年度)	
37	交通人身事故発生件数（令和元年の件数に対する減少率）	11,831件 (R元年)	17%減 (R4年)	15%減 (R4年)	◎	50%以上減 (R11年)	
政策4 住み続けられるまちづくり							
施策1 適正な土地利用によるまちのまとまりの維持							
38	立地適正化計画策定市町村数	9市町村 (R元年度末)	13市町村 (R4年度末)	12市町村 (R4年度末)	◎	18市町村 (R11年度末)	
39	市街化区域内人口密度	68.1人/ha (R元年度末)	67.3人/ha (R4年度末)	60人/ha以上の維持 (R4年度末)	◎	60人/ha以上の維持 (R11年度末)	
施策2 良好なまち並みと快適な住まいづくり							
40	土地区画整理完了率	82% (R元年度末)	83% (R4年度末)	83% (R4年度末)	◎	91% (R11年度末)	
41	住宅の耐震化率	87% (R元年度末)	89% (R4年度末)	91% (R4年度末)	◎	95% (R7年度末)	
42	耐震診断義務付け対象建築物の耐震化率	62% (R元年度末)	69% (R4年度末)	78% (R4年度末)	▲	95% (R7年度末)	
政策5 美しく良好な環境の保全							
施策2 健全な水循環の維持・回復							
43	汚水処理人口普及率	81.8% (R元年度末)	84.2% (R4年度末)	84.8% (R4年度末)	◎	91.7% (R9年度末)	
44	公共用水域環境基準値達成率（河川：BOD※75%値）	85% (R元年度末)	85% (R3年度末)	85% (R3年度末)	◎	90% (R11年度末)	

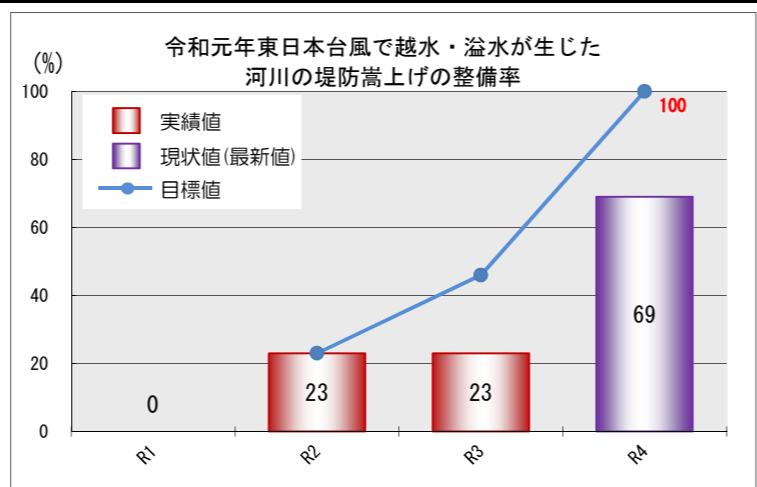
指標 1 令和元年東日本台風で越水・溢水が生じた河川の堤防嵩上げの整備率

●現在の状況及び課題
令和元年東日本台風により越水・溢水が生じた13箇所の堤防嵩上げを推進しているが、用地取得の難航や工事の遅れなどにより、令和5年3月末の整備率は69%にとどまっており、指標の進捗に遅れが生じている。(現状値：69%/目標値：100%)
なお、令和5年7月末時点では鑄川(田篠地区)、鑄川(内匠地区)が完了し、整備率は85%となっている。

●今後の取り組み予定
令和5年度は、残る2箇所について、難航している用地交渉を丁寧に進め、越水・溢水が生じた河川の堤防嵩上げの整備を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	23	23	69		
	R7	R8	R9	R10	R11



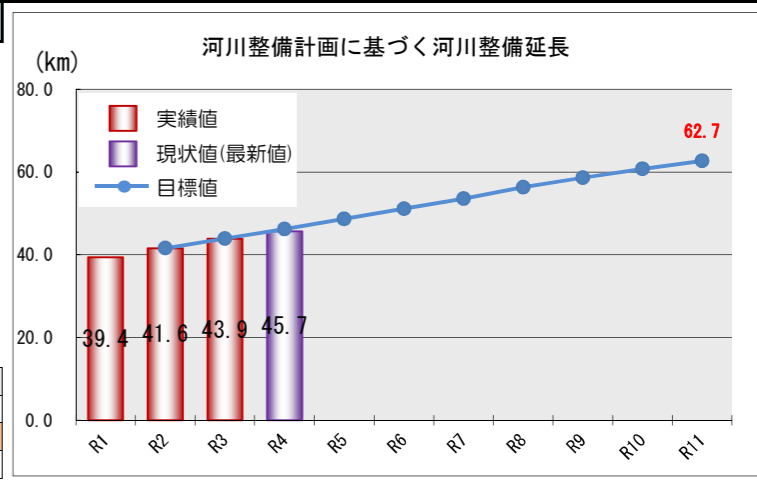
指標 5 河川整備計画に基づく河川整備延長

●現在の状況及び課題
河川整備計画に基づく、河道拡幅や堤防整備、調節池整備を推進しており、令和4年度は、寺沢川や丹生川(下流工区)等で河川改修を推進し、延長1.8kmの整備が完了したが、埋蔵文化財調査が広範囲で必要となったことなどにより、指標の進捗はやや遅れている。(現状値：45.7km/目標値：46.2km)
なお、令和5年7月末時点では山田川が完了し、整備延長は45.8kmとなっている。

●今後の取り組み予定
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を積極的に活用し、河川改修を重点的に推進し、浸水被害の防止・最小化に努める。

●指標における実績値の推移 [単位：km]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
39.4	41.6	43.9	45.7		
	R7	R8	R9	R10	R11



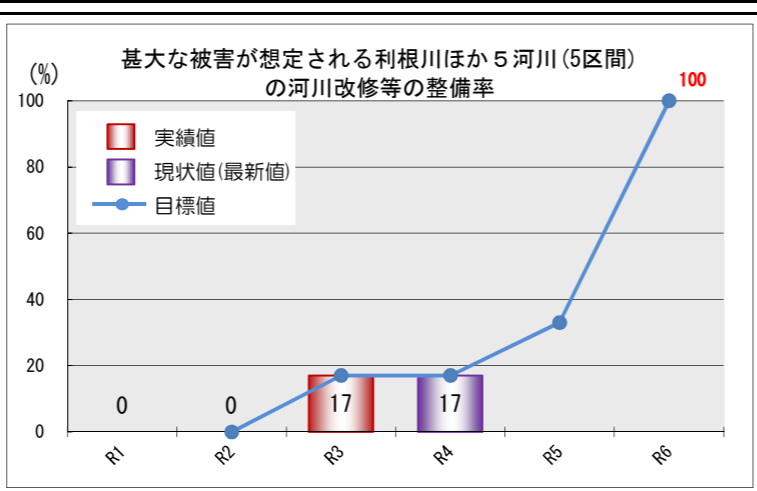
指標 2 甚大な被害が想定される利根川ほか5河川(5区間)の河川改修等の整備率

●現在の状況及び課題
甚大な被害が想定される地域において、河川整備計画に基づく、河道拡幅や堤防整備、調節池整備を推進しており、令和4年度は、利根川(伊勢崎・玉村工区)等の整備を推進し、指標の進捗は順調に推移している。(現状値：17%/目標値：17%)

●今後の取り組み予定
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を積極的に活用し、甚大な被害が想定される河川の河川改修等を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	0	17	17		
	R7	R8	R9	R10	R11



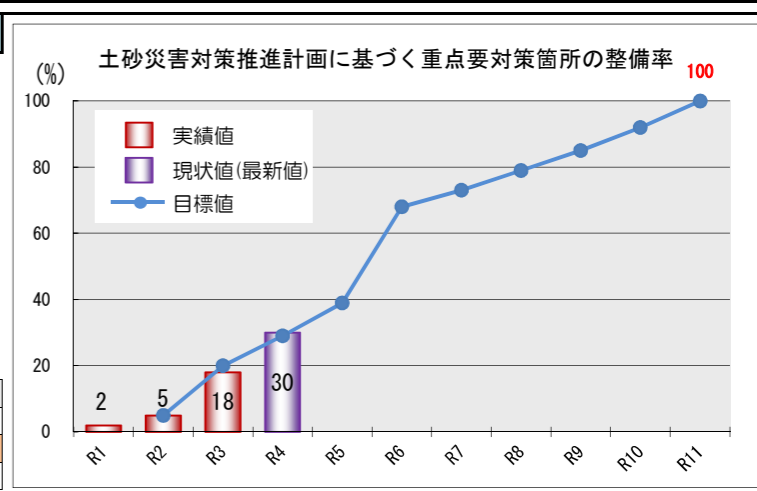
指標 6 土砂災害対策推進計画に基づく重点要対策箇所の整備率

●現在の状況及び課題
優先度Ⅰ～Ⅲの要対策箇所は概ね事業着手し、優先的に砂防施設の整備を進めており、指標の進捗は順調に推移している。(現状値：30%/目標値：29%)

●今後の取り組み予定
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を積極的に活用し、「土砂災害対策推進計画2021」に基づく重点要対策箇所の整備を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
2	5	18	30		
	R7	R8	R9	R10	R11



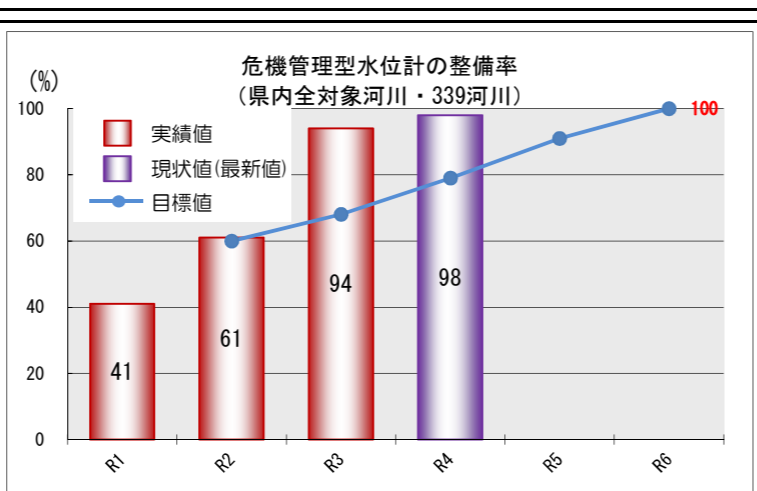
指標 3 危機管理型水位計の整備率(県内全対象河川・339河川)

●現在の状況及び課題
住民が「自ら逃げる」という主体的な行動がとれるよう、国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を活用し、水位計の整備を重点的に推進した結果、令和4年度までに333河川の整備が完了し、指標の進捗は順調に推移している。(現状値：98%/目標値：79%)

●今後の取り組み予定
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を積極的に活用し、危機管理型水位計の整備を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
41	61	94	98		
	R7	R8	R9	R10	R11



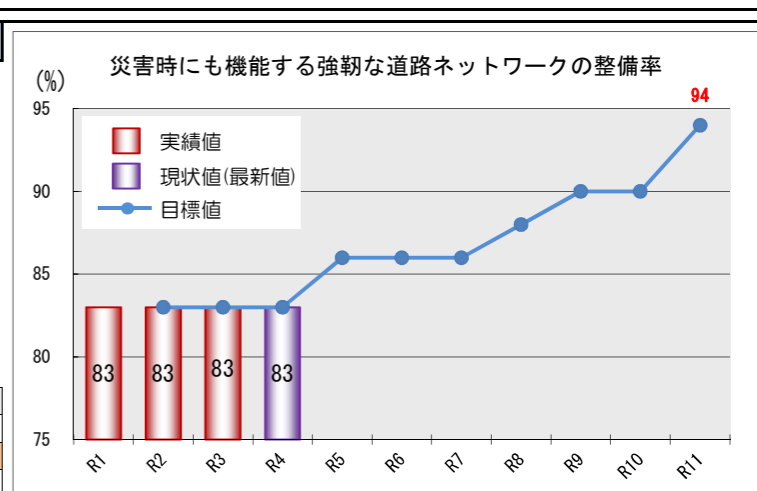
指標 7 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの整備率

●現在の状況及び課題
重要物流道路・代替補完路等の整備より、災害時にも機能する強靱な道路ネットワーク(レジリエンスネットワーク)の構築を推進しており、指標の進捗は順調に推移している。(現状値83%/目標値83%)

●今後の取り組み予定
今後も県土整備プランに基づき、災害時にも機能する強靱な道路ネットワークに位置付けられた道路の整備を計画的に推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
83	83	83	83		
	R7	R8	R9	R10	R11



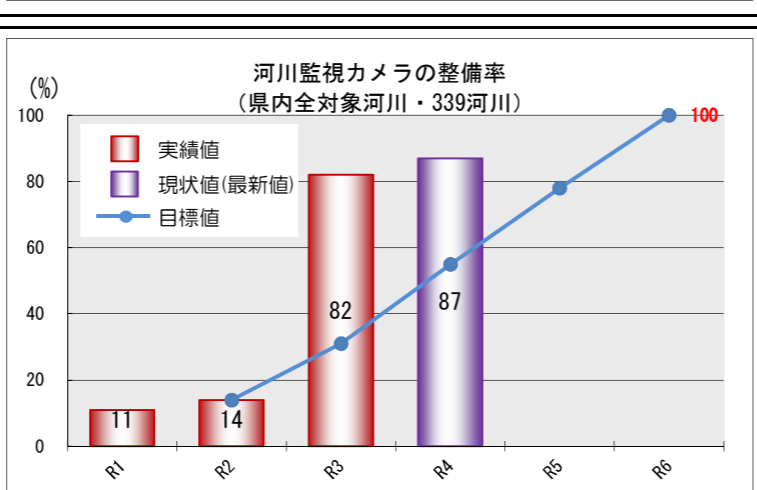
指標 4 河川監視カメラの整備率(県内全対象河川・339河川)

●現在の状況及び課題
住民が「自ら逃げる」という主体的な行動がとれるよう、国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を活用し、河川監視カメラの整備を重点的に推進した結果、令和4年度までに294河川の整備が完了し、指標の進捗は順調に推移している。(現状値：87%/目標値：55%)

●今後の取り組み予定
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を積極的に活用し、河川監視カメラの整備を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
11	14	82	87		
	R7	R8	R9	R10	R11



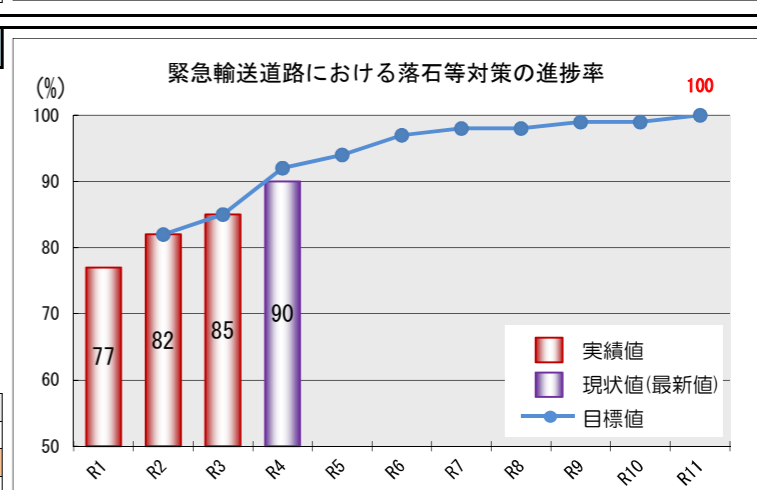
指標 8 緊急輸送道路における落石等対策の進捗率

●現在の状況及び課題
緊急輸送道路にある「要対策箇所」564箇所の法面対策工事を重点的に推進し、令和4年度末までに第1次緊急輸送道路上の対策が完了するなど計505箇所の対策が完了したが、関係機関との協議に時間を要したことなどにより、指標の進捗はやや遅れている。(現状値90%/目標値92%)

●今後の取り組み予定
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を積極的に活用し、緊急輸送道路が落石等により寸断しないよう、危険箇所の解消に取り組む。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
77	82	85	90		
	R7	R8	R9	R10	R11



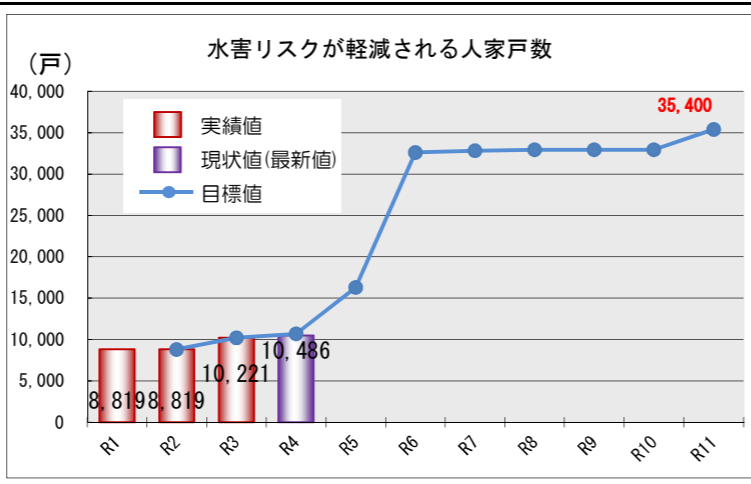
指標 9 水害リスクが軽減される人家戸数

●現在の状況及び課題
令和4年度は、約1.8kmの河川整備を行い、寺沢川及び丹生川(下流工区)の河川改修事業が完了したが、支障物件の移設の遅れにより、指標の進捗はやや遅れている。(現状値: 10,486戸/目標値: 10,695戸)
なお、令和5年7月末時点では山田川が完了し、軽減される戸数は10,695戸となっている。

●今後の取り組み予定
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を積極的に活用し、河川改修を重点的に推進して、水害リスクの軽減に努める。

●指標における実績値の推移 [単位: 戸]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
8,819	8,819	10,221	10,486		
	R7	R8	R9	R10	R11



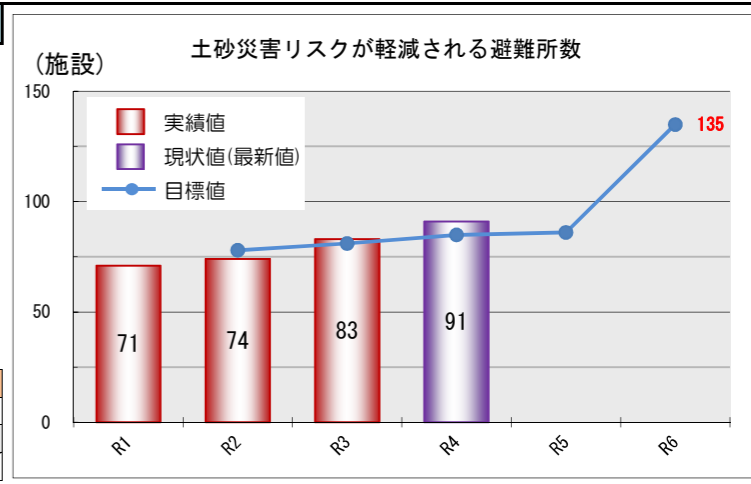
指標 13 土砂災害リスクが軽減される避難所数

●現在の状況及び課題
「土砂災害対策推進計画2021」に基づき、土砂災害警戒区域等に要配慮者施設・避難所や人家が集中する箇所などで優先的に砂防施設の整備を進めており、指標の進捗は順調に推移している。
(現状値: 91施設/目標値: 85施設)

●今後の取り組み予定
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を積極的に活用し、土砂災害対策を重点的に推進して、土砂災害リスクの軽減に努める。

●指標における実績値の推移 [単位: 施設]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
71	74	83	91		
	R7	R8	R9	R10	R11



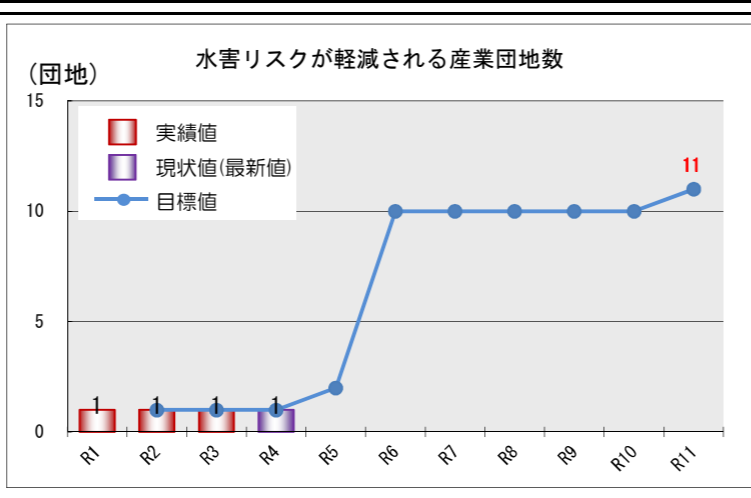
指標 10 水害リスクが軽減される産業団地数

●現在の状況及び課題
令和4年度は、蚊沼川等で河川改修を推進したが、産業団地の水害リスクを軽減させる区間の整備完了には至らず、指標の進捗は現状維持となっている。
(現状値: 1団地/目標値: 1団地)

●今後の取り組み予定
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を積極的に活用し、河川改修を重点的に推進して、水害リスクの軽減に努める。

●指標における実績値の推移 [単位: 団地]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
1	1	1	1		
	R7	R8	R9	R10	R11



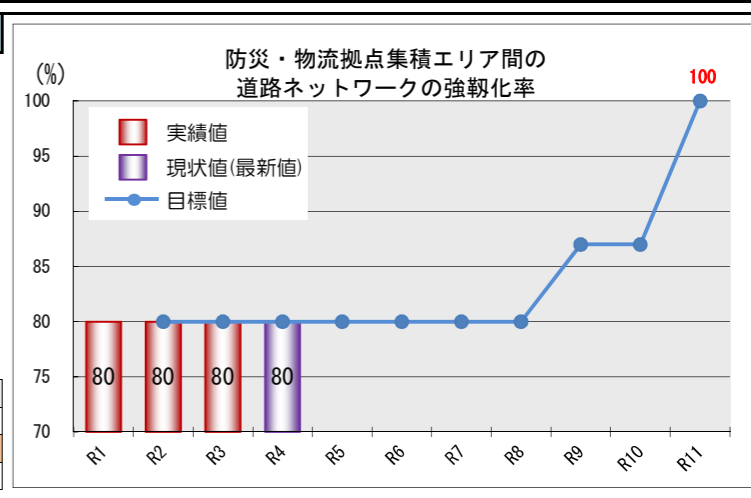
指標 14 防災・物流拠点集積エリア間の道路ネットワークの強靱化率

●現在の状況及び課題
上信自動車道や西毛広域幹線道路等の防災・物流拠点集積エリア間の道路ネットワークの安全性が向上する道路の整備を推進しており、指標の進捗は順調に推移している。
(現状値: 80% / 目標値: 80%)

●今後の取り組み予定
今後も県土整備プランに基づき、防災・物流拠点集積エリアを結ぶ道路ネットワークに位置付けられた道路の整備を計画的に推進する。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
80	80	80	80		
	R7	R8	R9	R10	R11



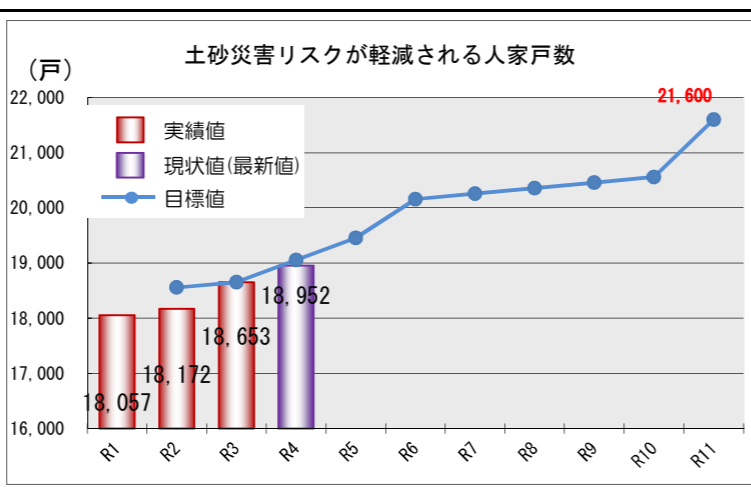
指標 11 土砂災害リスクが軽減される人家戸数

●現在の状況及び課題
「土砂災害対策推進計画2021」に基づき、土砂災害警戒区域等に要配慮者施設・避難所や人家が集中する箇所などで優先的に砂防施設の整備を進めているが、用地取得の難航などにより、指標の進捗は若干遅れている。
(現状値: 18,952戸/目標値: 19,057戸)

●今後の取り組み予定
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を積極的に活用し、土砂災害対策を重点的に推進して、土砂災害リスクの軽減に努める。

●指標における実績値の推移 [単位: 戸]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
18,057	18,172	18,653	18,952		
	R7	R8	R9	R10	R11



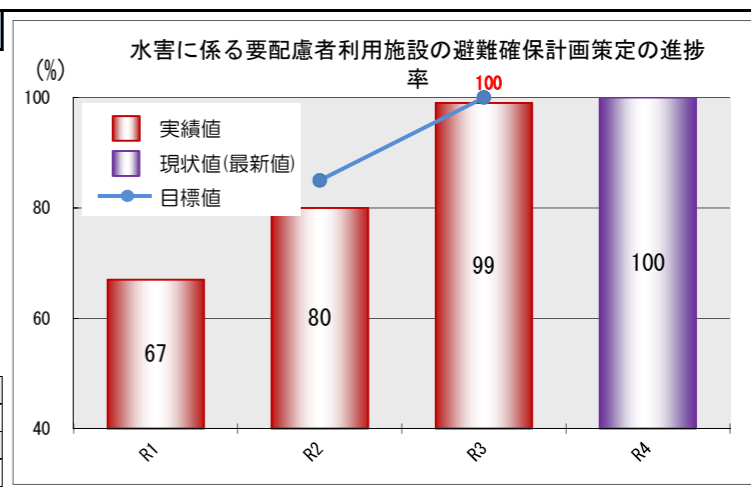
指標 15 水害に係る要配慮者利用施設の避難確保計画策定の進捗率

●現在の状況及び課題
市町村と連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の策定支援等を実施した結果、避難確保計画の策定率は、令和4年7月で策定率100%を達成した。(現状値: 100%/目標値: 100%)

●今後の取り組み予定
引き続き、市町村と連携し、避難訓練の支援等により、要配慮者利用施設への避難支援に取り組む。
なお、国土交通省において、令和5年3月末時点の進捗を公表しており、群馬県は、令和4年3月に中小河川の浸水想定区域が対象に追加されたため、策定率98.3%となっているが、未策定の区域についても速やかに順次策定予定である。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
67	80	99	100		
	R7	R8	R9	R10	R11



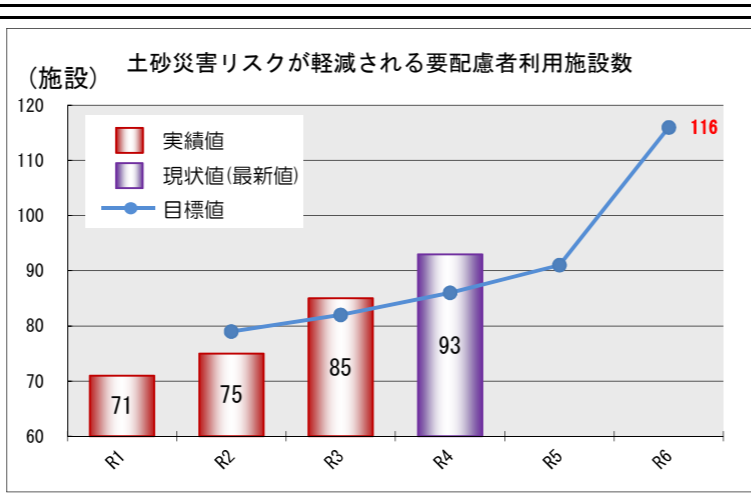
指標 12 土砂災害リスクが軽減される要配慮者利用施設数

●現在の状況及び課題
「土砂災害対策推進計画2021」に基づき、土砂災害警戒区域等に要配慮者施設・避難所や人家が集中する箇所などで優先的に砂防施設の整備を進めており、指標の進捗は順調に推移している。
(現状値: 93施設/目標値: 86施設)

●今後の取り組み予定
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を積極的に活用し、土砂災害対策を重点的に推進して、土砂災害リスクの軽減に努める。

●指標における実績値の推移 [単位: 施設]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
71	75	85	93		
	R7	R8	R9	R10	R11



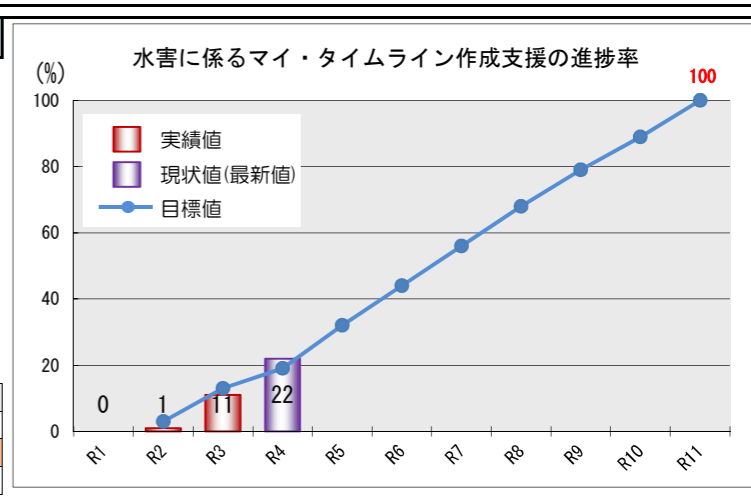
指標 16 水害に係るマイ・タイムライン作成支援の進捗率

●現在の状況及び課題
市町村と連携し、マイ・タイムラインの作成に係るモデル地区の講習会を6市町村で実施するとともに、市町村担当者が実施する講習会の進捗も順調に推移している。
(現状値: 22%/目標値: 19%)

●今後の取り組み予定
引き続き、モデル地区の講習会を行い、市町村担当者に支援方法を確認してもらうことで作成支援の拡大を図る。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	1	11	22		
	R7	R8	R9	R10	R11



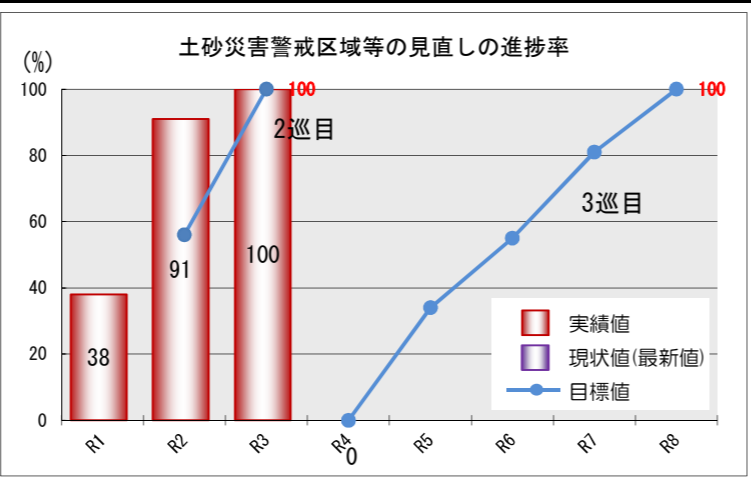
指標 17 土砂災害警戒区域等の見直しの進捗率

●現在の状況及び課題
2巡目の土砂災害警戒区域等の見直し（砂防基礎調査）については、令和3年度末において、対象の27市町村全てで完了した。（現状値：100%/目標値：100%）
令和3年度から3巡目の見直しを実施しており、令和4年度は8市町村の調査に着手した。

●今後の取り組み予定
令和5年度は6市町村の調査に着手し、令和8年度までに土砂災害警戒区域等の確実な指定・公表を行う。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
38	91	100	0		
	R7	R8	R9	R10	R11



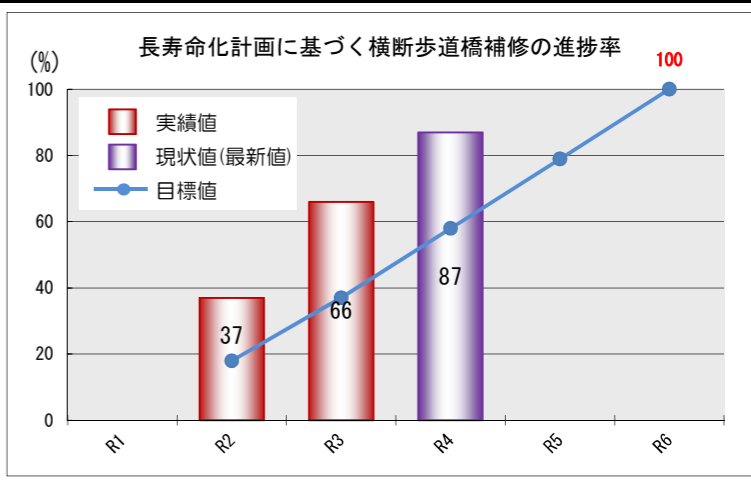
指標 21 長寿命化計画に基づく横断歩道橋補修の進捗率

●現在の状況及び課題
「群馬県道路施設長寿命化計画」に基づき、計画的な横断歩道橋の補修を実施している。令和4年度までに、劣化が著しく緊急的な対策が必要な33箇所の補修が完了したことにより、計画を上回る進捗となっている。（現状値：87%/目標値：58%）

●今後の取り組み予定
令和5年度は、5箇所の補修を実施する予定であり、引き続き、横断歩道橋を長期にわたって安全に使用し続けるために、計画的な点検・維持管理・更新を実施する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	37	66	87		
	R7	R8	R9	R10	R11



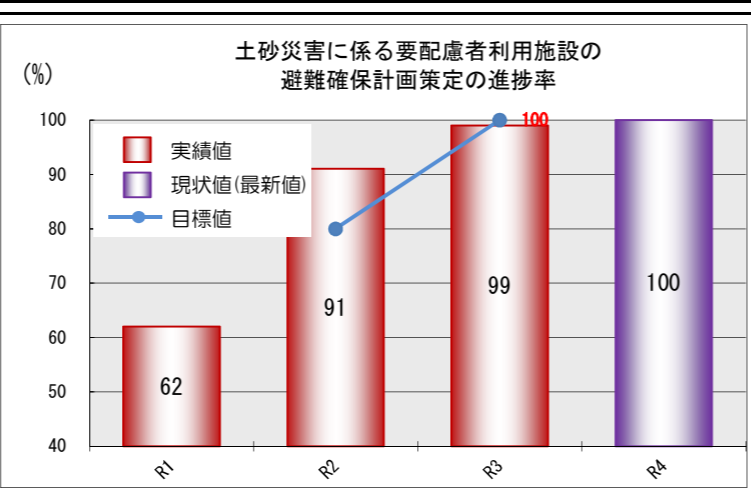
指標 18 土砂災害に係る要配慮者利用施設の避難確保計画策定の進捗率

●現在の状況及び課題
市町村と連携し、要配慮者利用施設における避難確保計画の策定支援等を実施した結果、避難確保計画の策定率は、令和4年7月で100%を達成している。（現状値：100%/目標値：100%）

●今後の取り組み予定
引き続き、市町村と連携し、避難訓練の支援等により、要配慮者利用施設への避難支援に取り組む。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
62	91	99	100		
	R7	R8	R9	R10	R11



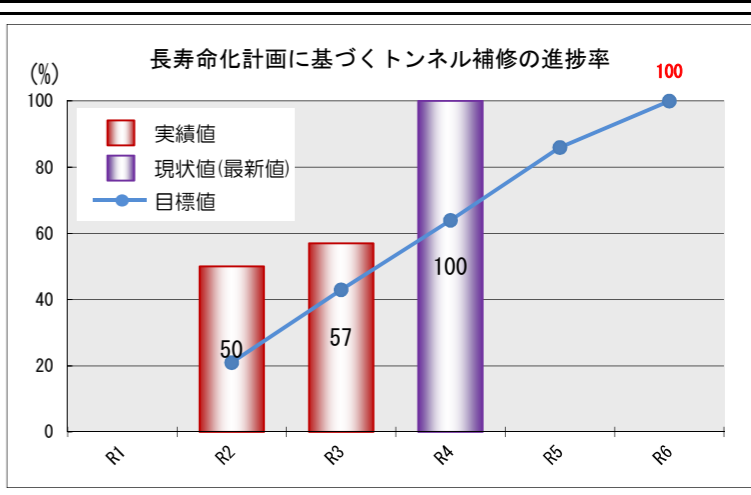
指標 22 長寿命化計画に基づくトンネル補修の進捗率

●現在の状況及び課題
「群馬県道路施設長寿命化計画」に基づき、計画的なトンネルの補修を実施している。令和4年度までに、劣化が著しく緊急的な対策が必要な14箇所の補修が完了したことにより、計画を上回る進捗となっている。（現状値100%/目標値：64%）

●今後の取り組み予定
引き続き、トンネルを長期にわたって安全に使用し続けるために、計画的な点検・維持管理を実施する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	50	57	100		
	R7	R8	R9	R10	R11



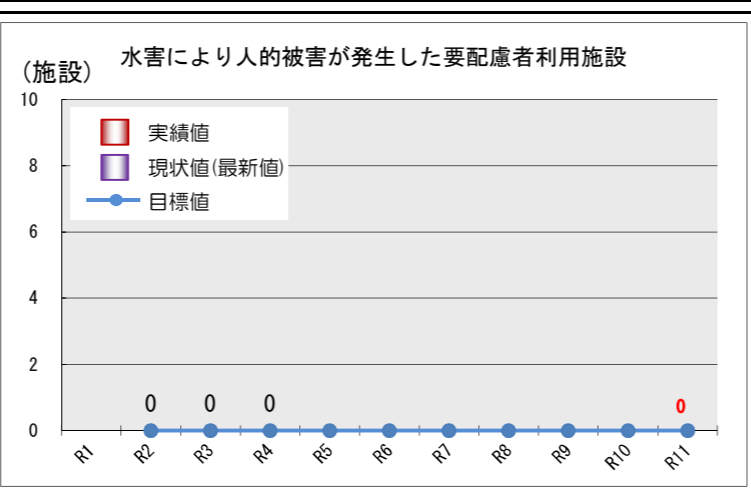
指標 19 水害により人的被害が発生した要配慮者利用施設数

●現在の状況及び課題
要配慮者利用施設の避難確保計画の策定を支援することで、適切な避難を行ってもらうよう取り組んでおり、令和4年度は水害による人的被害の発生はなかった。（現状値：0施設/目標値：0施設）

●今後の取り組み予定
引き続き、要配慮者利用施設における避難訓練の支援等に取り組む。

●指標における実績値の推移 [単位：施設]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	0	0	0		
	R7	R8	R9	R10	R11



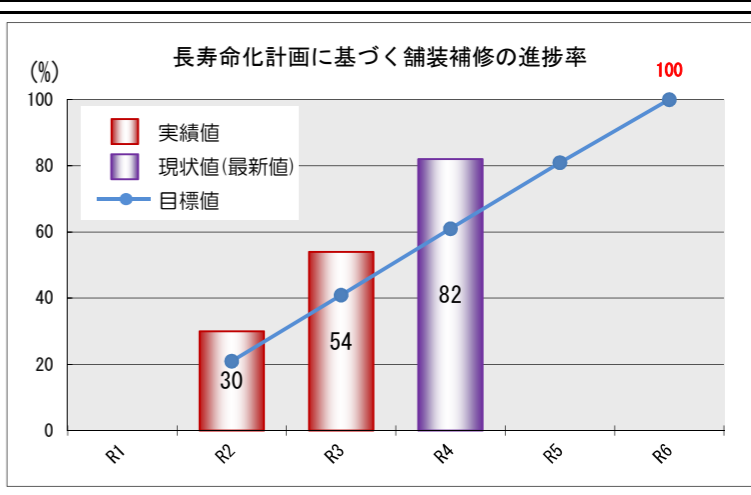
指標 23 長寿命化計画に基づく舗装補修の進捗率

●現在の状況及び課題
「群馬県道路施設長寿命化計画」に基づき、計画的な舗装修繕を実施している。令和4年度までに、劣化が著しく緊急的な対策が必要な約155kmの舗装修繕が完了したことにより、計画を上回る進捗となっている。（現状値：82%/目標値：61%）

●今後の取り組み予定
令和5年度は、路面性状調査と舗装修繕約37kmを実施する予定であり、引き続き、計画的な維持管理を実施する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	30	54	82		
	R7	R8	R9	R10	R11



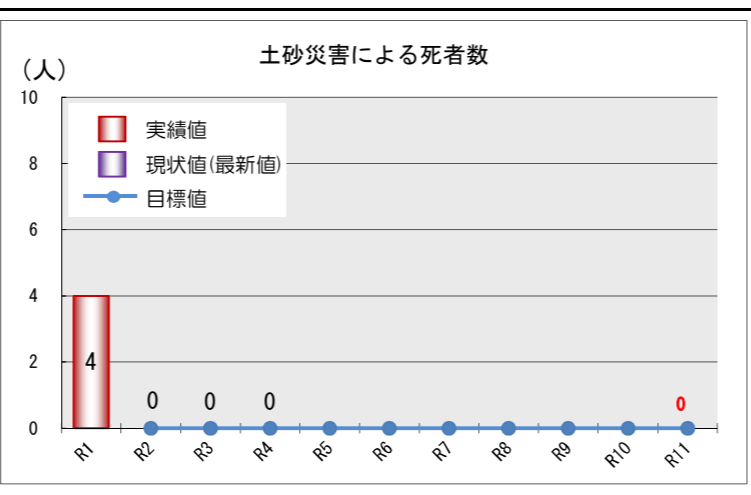
指標 20 土砂災害による死者数

●現在の状況及び課題
「土砂災害対策推進計画2021」に基づく砂防施設の整備や「逃げ遅れゼロ」に向けた住民の避難行動を促進するソフト対策に取り組んでおり、令和4年度の土砂災害による死者はなかった。（現状値：0人/目標値：0人）

●今後の取り組み予定
引き続き、ハード・ソフトが一体となった土砂災害対策に取り組むことで、住民の確実な避難につなげていく。

●指標における実績値の推移 [単位：人]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
4	0	0	0		
	R7	R8	R9	R10	R11



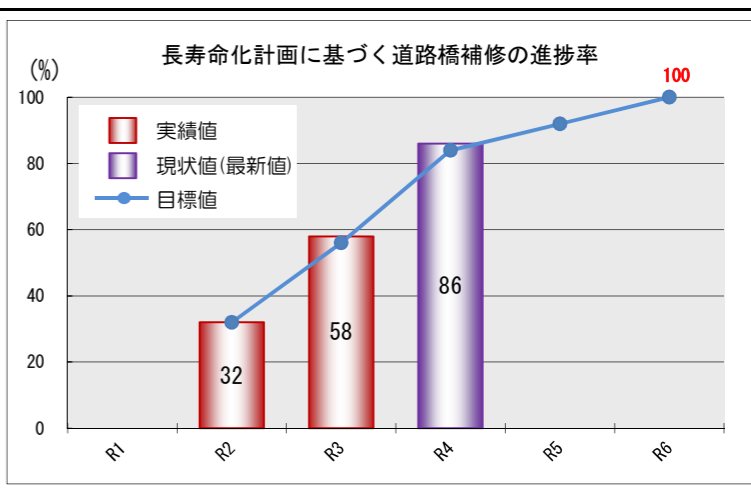
指標 24 長寿命化計画に基づく道路橋補修の進捗率

●現在の状況及び課題
「群馬県橋梁長寿命化計画」に基づき、計画的な点検・補修を実施している。令和4年度は、70橋の補修を完了し、指標の進捗は順調に推移している。（現状値：86%/目標値：84%）

●今後の取り組み予定
令和5年度は、20橋で補修を実施する予定であり、引き続き、計画的な維持管理・更新を進める

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	32	58	86		
	R7	R8	R9	R10	R11



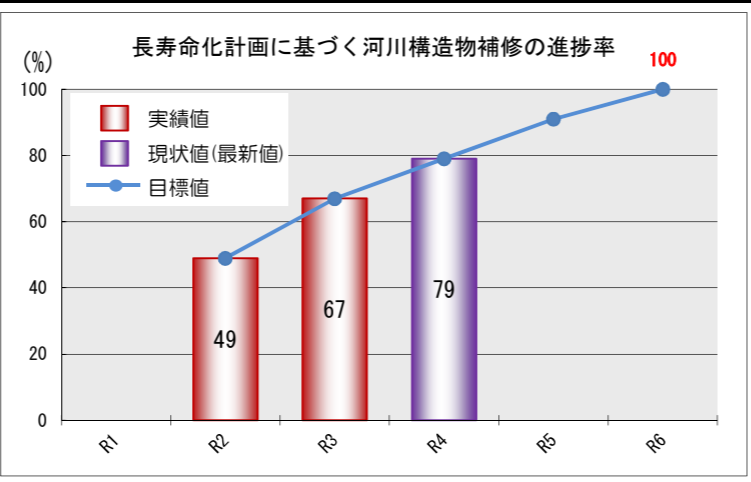
指標 25 長寿命化計画に基づく河川構造物補修の進捗率

●現在の状況及び課題
「河川構造物長寿命化計画」に基づき、計画的な点検・維持管理・更新を実施している。令和4年度は、5箇所(5施設)の補修や更新が完了し、指標の進捗は順調に推移している。
(現状値：79%/目標値：79%)

●今後の取り組み予定
令和5年度は、5箇所(5施設)の補修や更新を実施する予定であり、引き続き、計画的な補修や更新を実施する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	49	67	79		
	R7	R8	R9	R10	R11



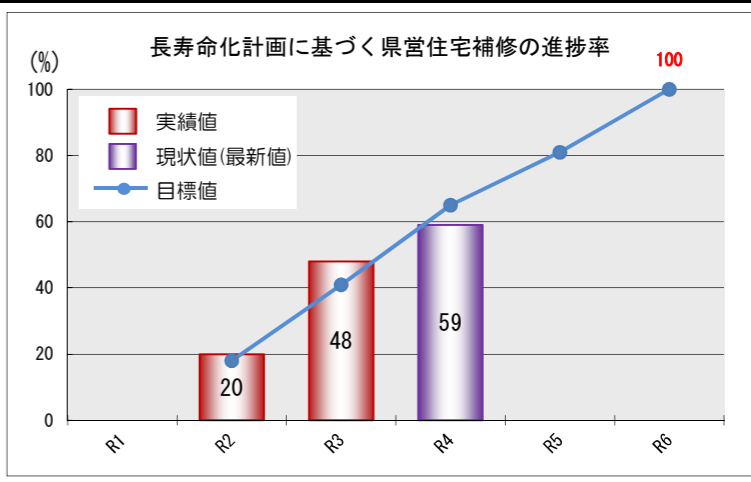
指標 29 長寿命化計画に基づく県営住宅補修の進捗率

●現在の状況及び課題
「群馬県営住宅長寿命化計画」に基づき、計画的な改善工事等を実施している。令和4年度は、広瀬県営住宅など163戸の改善工事が完了したが、工事に伴って発生する騒音等に関する近隣住民等との協議等に不測の時間を要したことにより、指標の進捗にやや遅れが生じている。(現状値：59%/目標値65%)

●今後の取り組み予定
令和5年度は、昨年度未完了の工事を含む534戸の工事を実施する予定であり、計画的に住戸改善工事や外壁・屋上防水改修工事等を実施する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	20	48	59		
	R7	R8	R9	R10	R11



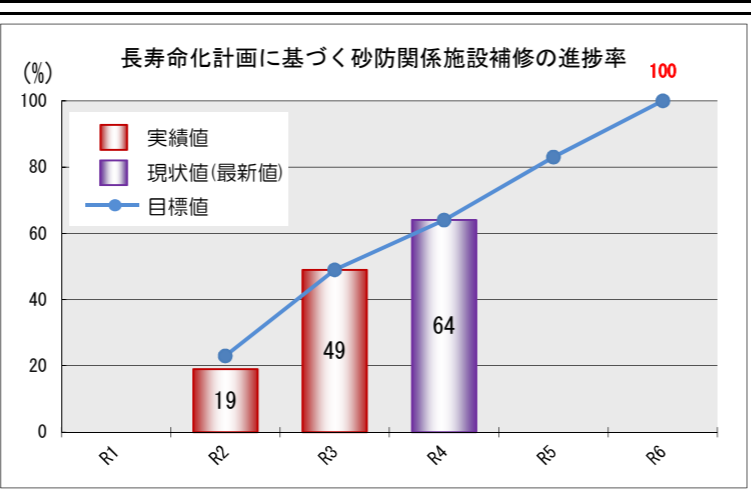
指標 26 長寿命化計画に基づく砂防関係施設補修の進捗率

●現在の状況及び課題
「群馬県砂防関係施設長寿命化計画」に基づき、計画的な点検・対策を実施している。令和4年度は、22箇所の対策が完了し、指標の進捗は順調に推移している。
(現状値：64%/目標値：64%)

●今後の取り組み予定
令和5年度は、28箇所の対策工事を完了させる予定であり、引き続き、計画的な対策を実施する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	19	49	64		
	R7	R8	R9	R10	R11



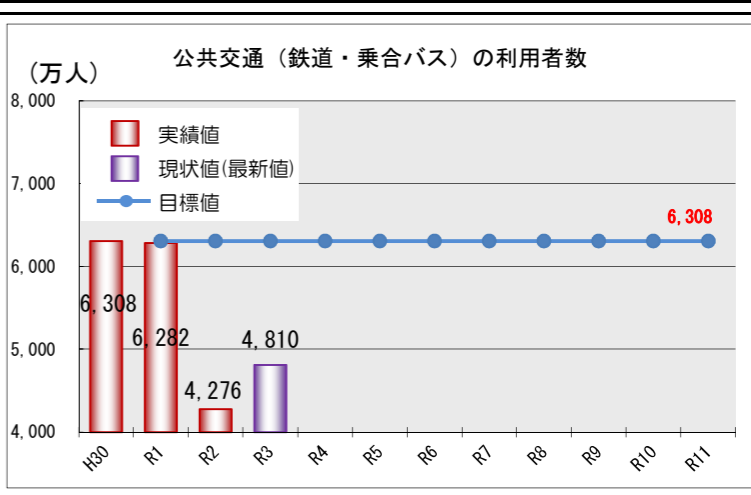
指標 30 公共交通（鉄道・乗合バス）の利用者数

●現在の状況及び課題
令和3年度の利用者数は、令和2年度に比べ回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症による影響により、利用者数が大幅に減少した状態が続いている。(現状値：4,810万人/目標値：6,308万人)

●今後の取り組み予定
令和5年3月に「群馬県交通まちづくり戦略」を改定し、「ぐんまらしい「快疎」な空間の形成とそれを支える多様な移動手段が整った社会」の実現に向けて、多様なライフスタイルに合わせて、誰もが安全・快適に移動でき、良好な社会環境のもとで持続的に暮らせる群馬県とするため、既存の公共交通インフラを最大限に活用し、都市交通の効率的な運行と利用促進策を講じていく。

●指標における実績値の推移 [単位：万人]

H30(初期値)	R1	R2	R3	R4	R5
6,308	6,282	4,276	4,810		
	R6	R7	R8	R9	R10
					R11



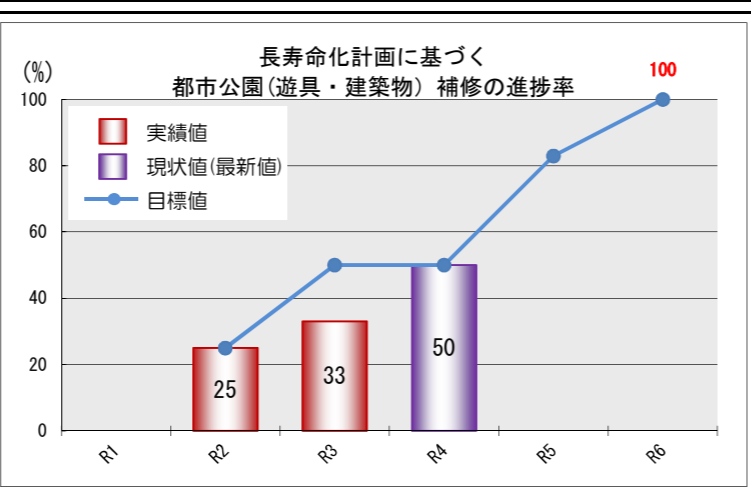
指標 27 長寿命化計画に基づく都市公園（遊具・建築物）補修の進捗率

●現在の状況及び課題
「都市公園長寿命化計画」に基づき、5つの県立都市公園における遊具や建築物といった施設の計画的な維持補修を実施している。令和4年度は、2施設の対策工事が完了し、指標の進捗は順調に推移している。(現状値：50%/目標値：50%)

●今後の取り組み予定
令和5年度は、4施設の対策工事を完了させる予定であり、引き続き、計画的に対策を実施する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	25	33	50		
	R7	R8	R9	R10	R11



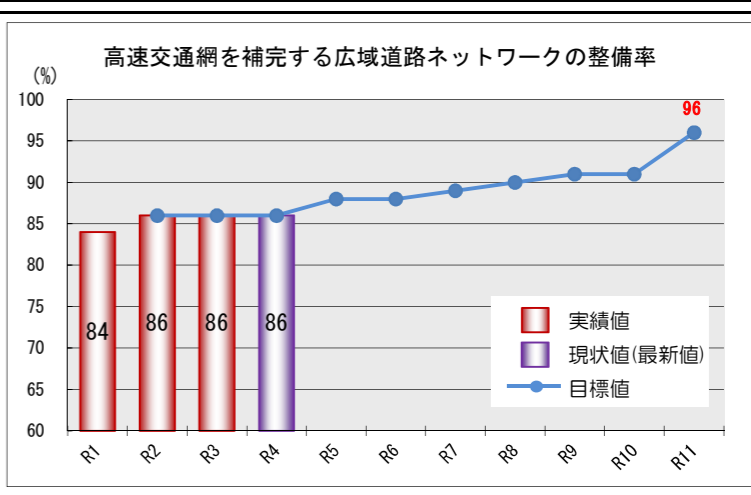
指標 31 高速交通網を補完する広域道路ネットワークの整備率

●現在の状況及び課題
上信自動車道や西毛広域幹線道路等の高速道路網を補完する広域道路ネットワークの整備を推進しており、指標の進捗は順調に推移している。
(現状値：86%/目標値：86%)

●今後の取り組み予定
今後も県土整備プランに基づき、広域道路ネットワークに位置付けられた道路の整備を計画的に推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
84	86	86	86		
	R7	R8	R9	R10	R11



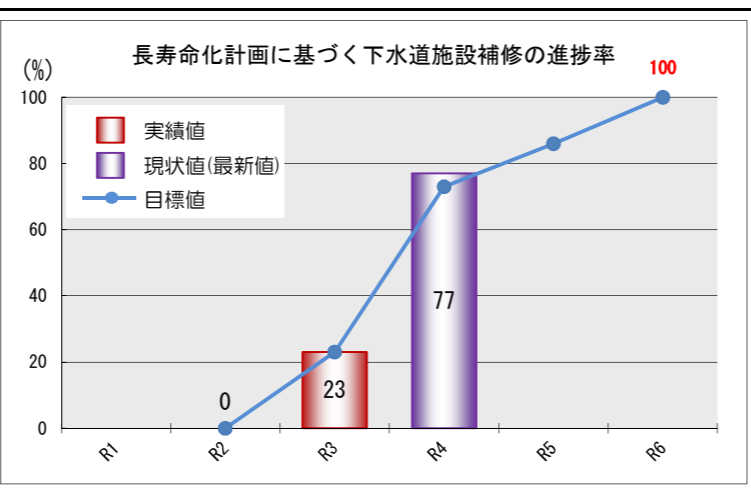
指標 28 長寿命化計画に基づく下水道施設補修の進捗率

●現在の状況及び課題
「群馬県下水道施設長寿命化計画」に基づき、計画的な点検・維持管理・更新を実施している。令和4年度は、12施設で対策工事を実施し、指標の進捗は順調に推移している。
(現状値：77%/目標値：73%)

●今後の取り組み予定
令和5年度は3施設の対策工事を完了させる予定であり、引き続き、持続的な汚水処理機能の確保のため、計画的な施設点検と施設更新を行う。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	0	23	77		
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 32 主要渋滞箇所の対策率

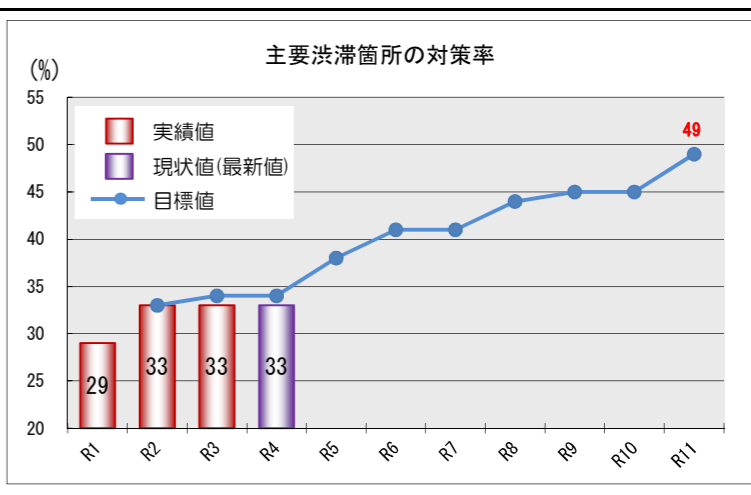
●現在の状況及び課題
渋滞箇所やすれ違い困難箇所の解消を図る交差点改良や現道拡幅を推進しているが、令和4年度は、用地取得の難航などにより、指標進捗にやや遅れが生じている。
(現状値：33%/目標値：34%)

●今後の取り組み予定
令和4年度末現在、対策の完了が遅延している2箇所のうち、1箇所については、令和4年度内に交差点部を概成させ、効果が発現しているところである。

●今後の取り組み予定
今後も県土整備プランに基づき、主要渋滞箇所に位置付けられた箇所の整備を計画的に推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
29	33	33	33		
	R7	R8	R9	R10	R11

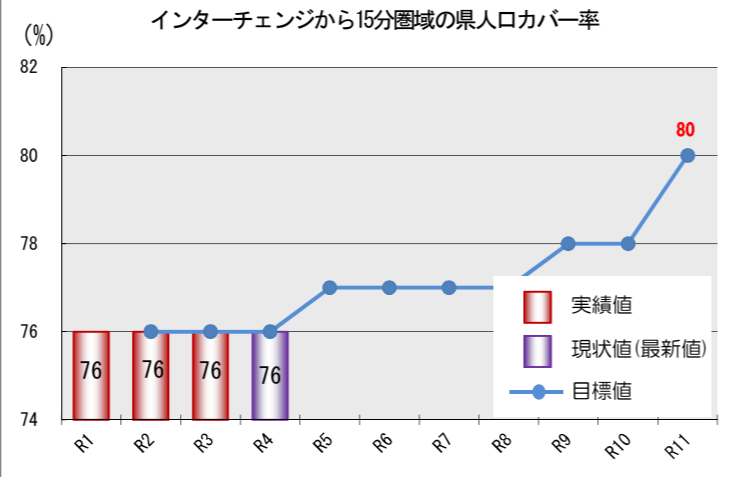


指標 33 インターチェンジから15分圏域の県人口カバー率

●現在の状況及び課題
 上信自動車道や西毛広域幹線道路等の高速交通網を補完する路線の整備を推進しており、指標の進捗は順調に推移している。
 (現状値:76%/目標値:76%)
 ●今後の取り組み予定
 今後も県土整備プランに基づき、広域道路ネットワークに位置付けられた道路の整備を計画的に推進する。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
76	76	76	76		
	R7	R8	R9	R10	R11

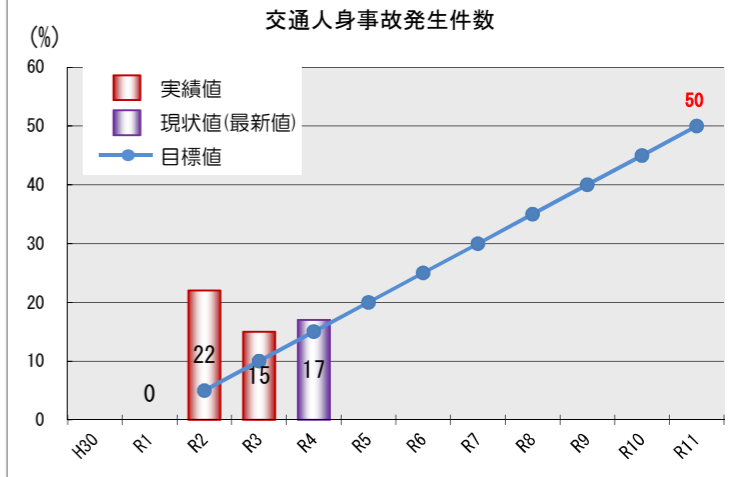


指標 37 交通人身事故発生件数(令和元年の件数に対する減少率)

●現在の状況及び課題
 歩道や自転車通行空間の整備、四季の交通安全運動など様々な取組を実施した結果、令和4年の人身事故件数は前年より少ない9,803件となり、目標値は達成できている。(R元年:11,831件)
 (現状値17%減/目標値:15%減)
 ●今後の取り組み予定
 加害者、被害者に占める高齢者割合が高いため、高齢者に対する交通安全教育に取り組んでいく。
 また、中高生の通学時1万人当たりの自転車事故件数が全国ワースト1位(令和3年)であるため、矢羽根型路面表示の整備や自転車事故多発箇所への看板設置等を推進するとともに、交通安全条例に基づき自転車保険の義務化とヘルメットの着用促進に取り組んでいく。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	22	15	17		
	R7	R8	R9	R10	R11

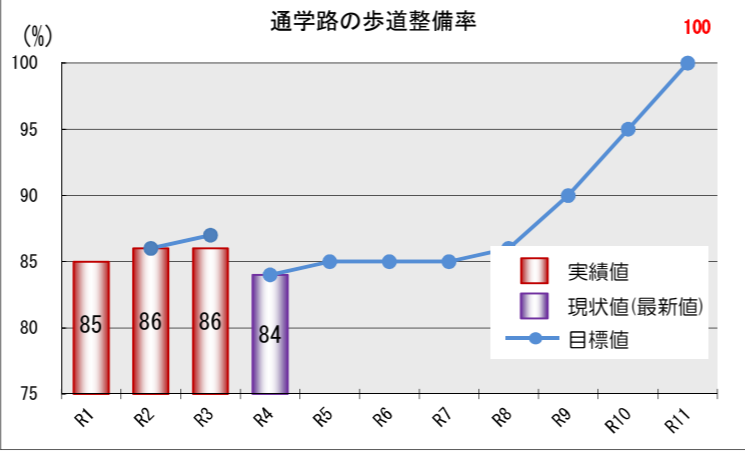


指標 34 通学路の歩道整備率

●現在の状況及び課題
 児童の通学時の安全を確保するため法指定通学路の整備を優先し、令和4年度は、主要地方道高崎神流秩父線吉井町神保工区などで歩道整備を推進した。法指定通学路724.3kmのうち令和4年度に完了した約1kmを含む605.2kmの整備が完了し、指標の進捗は順調に推移している。
 (現状値:84%/目標値:84%)
 ●今後の取り組み予定
 法指定通学路724.3kmを対象に、整備手法などの検討を行った上で、目標達成に向け、計画的に歩道整備を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
85	86	86	84		
	R7	R8	R9	R10	R11

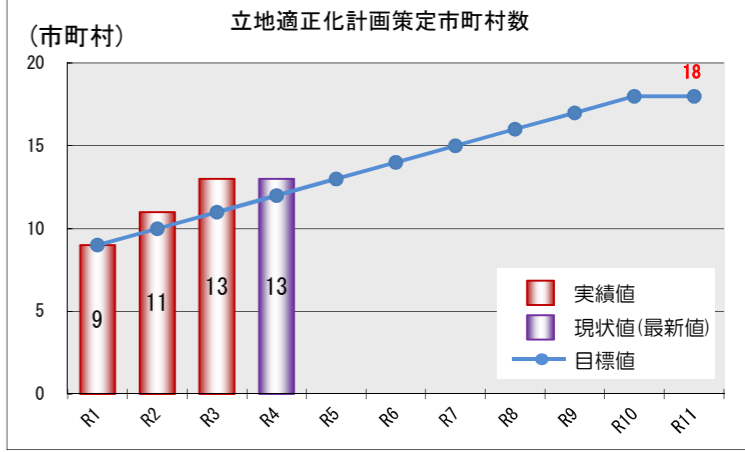


指標 38 立地適正化計画策定市町村数

●現在の状況及び課題
 計画策定に着手した13市町のうち、令和4年度末までに、前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、館林市、富岡市、明和町、邑楽町、藤岡市、吉岡町、渋川市、千代田町の全てが計画策定を完了し公表した。指標の進捗は順調に推移している。
 (現状値:13市町/目標値:12市町)
 ●今後の取り組み予定
 県は、未策定市町村に対する働きかけを継続しつつ、令和5年度以降計画策定予定市町村の策定準備に対する支援を行う。

●指標における実績値の推移 [単位: 市町村]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
9	11	13	13		
	R7	R8	R9	R10	R11

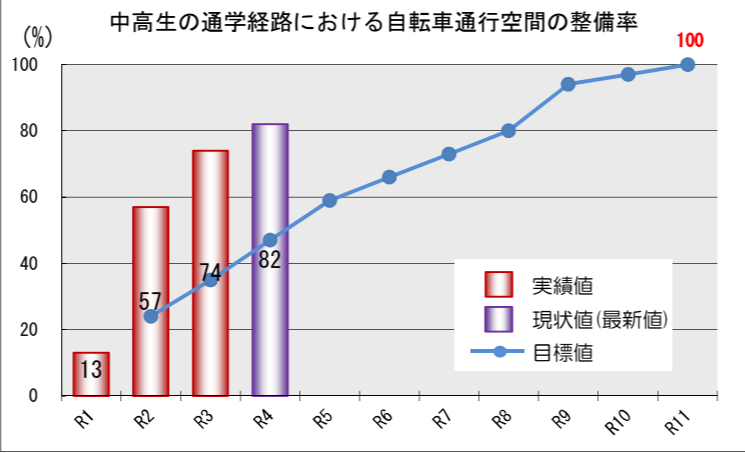


指標 35 中高生の通学経路における自転車通行空間の整備率

●現在の状況及び課題
 中高生の通学時1万人当たりの自転車事故件数が全国ワースト1位(令和3年)であることから、中高生の通学する自転車通行空間を優先し、令和4年度は、県道藤木高崎線などで自転車通行空間の整備を推進した。自転車ネットワーク路線における中高生の通学経路170kmのうち139.4kmの整備が完了し、指標の進捗は順調に推移している。
 (現状値:82%/目標値:47%)
 ●今後の取り組み予定
 引き続き、中高生の通学する自転車通行空間の整備を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
13	57	74	82		
	R7	R8	R9	R10	R11

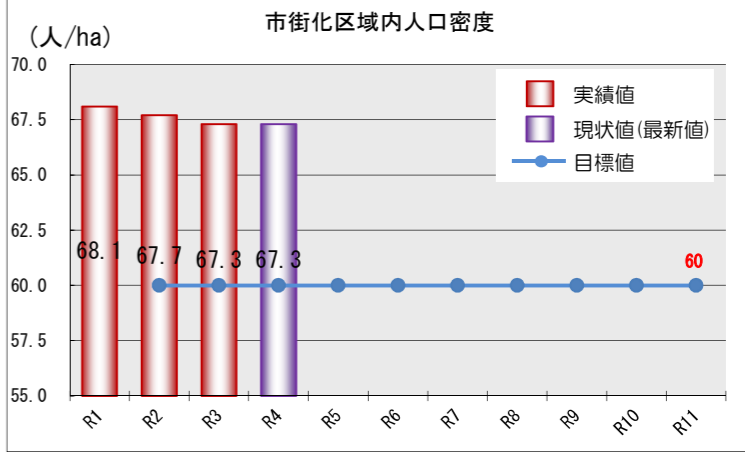


指標 39 市街化区域内人口密度

●現在の状況及び課題
 県内各都市の中心市街地において、全般的に人口減少が進行している傾向にあるため、平成30年度に対して令和4年度は人口密度が微減となっているが、ほぼ横ばいを維持している。
 (現状値:67.3人/ha/目標値:60人/ha以上の維持)
 ●今後の取り組み予定
 今後も、県と市町村で協力して、立地適正化計画の居住誘導区域の設定や市街化調整区域の地区計画など郊外の土地利用規制を組み合わせ、「まちのまとまりづくり」を進める。

●指標における実績値の推移 [単位: 人/ha]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
68.1	67.7	67.3	67.3		
	R7	R8	R9	R10	R11

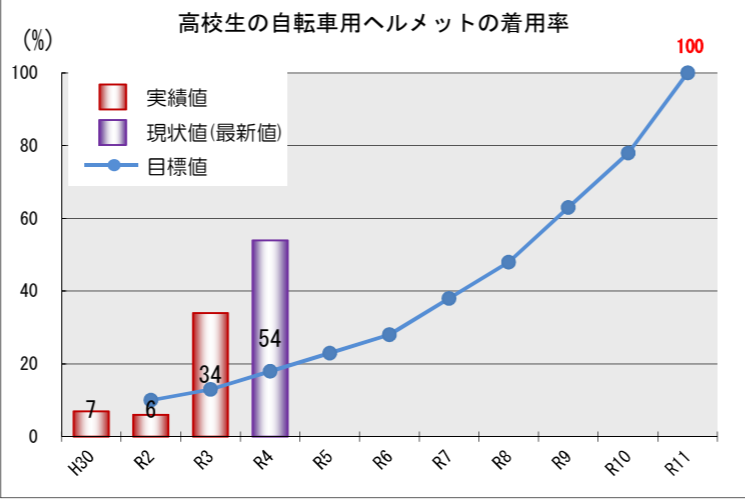


指標 36 高校生の自転車用ヘルメットの着用率

●現在の状況及び課題
 高校生の通学時1万人当たりの自転車事故件数が8年連続で全国ワースト1位であり、高校生の自転車事故が多いことから、事故発生時の重傷化を防止するため、ヘルメット着用促進を図っている。高校生を対象とした無記名でのアンケートを実施した結果、約10,000人の回答のうち「ヘルメットを着用している」と回答したのは約54%であり、指標の進捗は計画を大幅に上回っている。
 (現状値:54%/目標値:18%)
 ●今後の取り組み予定
 各高校に、県庁職員で構成した自転車活用推進啓発チーム「GME T」を派遣して、県警、市町村等と連携した着用啓発を行い、着用率向上に努める。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

H30(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
7	6	34	54		
	R7	R8	R9	R10	R11

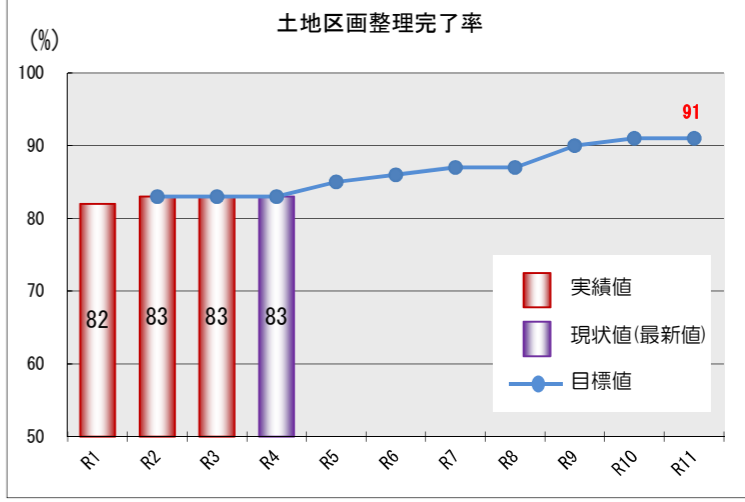


指標 40 土地区画整理完了率

●現在の状況及び課題
 土地区画整理事業の事業主体である市町村や組合に対する指導や助言、整備費用に対する財政的支援を行うことで、健全な市街地の形成と快適な居住環境の整備に資する土地区画整理事業を推進しており、指標の進捗は順調に推移している。
 (現状値:83%/目標値:83%)
 ●今後の取り組み予定
 引き続き、事業主体である市町村や組合に対する支援を行う。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
82	83	83	83		
	R7	R8	R9	R10	R11



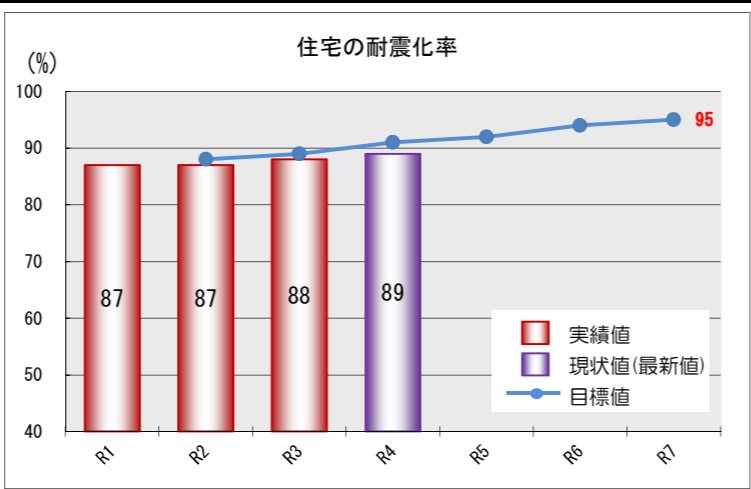
指標 41 住宅の耐震化率

●現在の状況及び課題
住宅の耐震化の促進に向け、市町村への支援を継続して実施しており、現在26の市町村が耐震改修補助事業を設けているが、新型コロナウイルスの影響により、個別訪問等の直接的な取組が十分実施できなかったこと等が影響し、指標の進捗はやや遅れている。
(現状値：89%／目標値：91%)

●今後の取り組み予定
木造住宅を所有する高齢者など、ターゲットを定め、ターゲットに合わせた普及啓発を行っていく。また、本県では低コストの耐震改修が普及していないため、建築士、施工者を対象にした低コスト耐震改修講習会を開催する等、耐震改修のプレイヤーを育成する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
87	87	88	89		
	R7	R8	R9	R10	R11



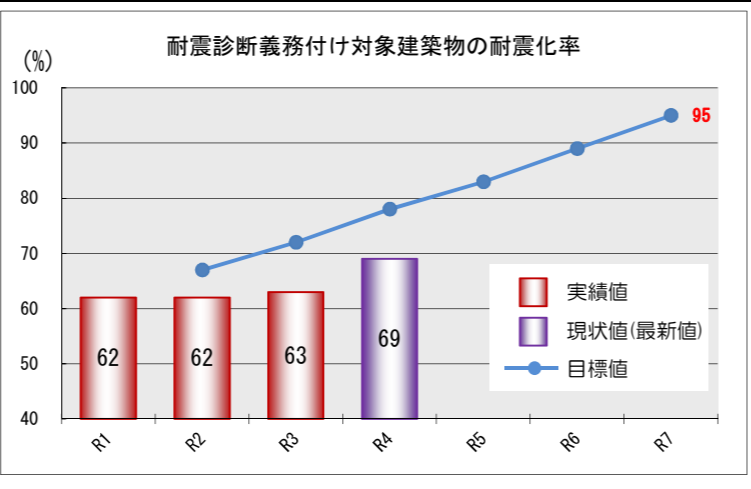
指標 42 耐震診断義務付け対象建築物の耐震化率

●現在の状況及び課題
建築物の耐震改修の促進に関する法律により、耐震診断の実施が義務付けされている大規模な旅館・ホテル等や緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を促進するため、市町村と協調して耐震改修に対する補助を行っている。しかし、新型コロナウイルスの影響による事業者の経営状況の悪化等により、耐震改修工事が延期となり、指標の進捗は遅れている。
(現状値：69%／目標値：78%)

●今後の取り組み予定
耐震性が不十分な建築物の所有者に対して個別訪問、メール及び電話連絡等により定期的にヒアリングを行い、所有者の状況に応じて必要とされる適切な情報を提供し、市町村と県による協調補助制度を活用した耐震診断、耐震補強設計及び耐震改修の実施を促す。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
62	62	63	69		
	R7	R8	R9	R10	R11



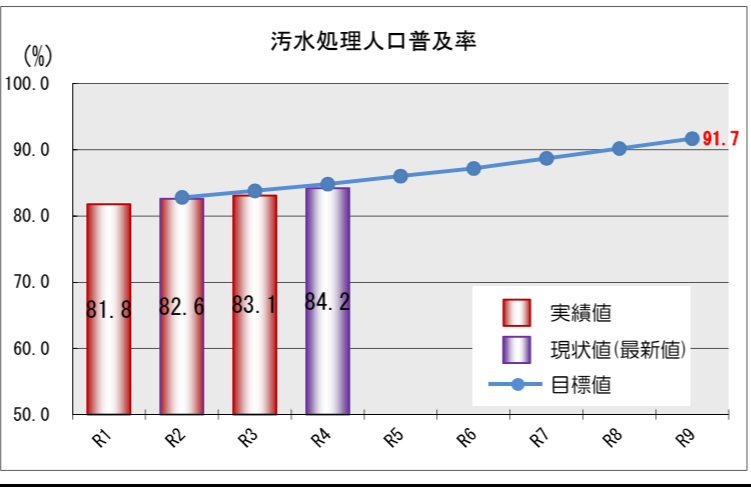
指標 43 汚水処理人口普及率

●現在の状況及び課題
県と市町村は、下水道や合併処理浄化槽など汚水処理施設の整備を推進しているが、主に市町村による下水道整備と単独浄化槽等から合併処理浄化槽への転換が伸び悩み、指標の進捗が若干遅れている。
(現状値：84.2%／目標値：84.8%)

●今後の取り組み予定
令和4年度に改定した「群馬県汚水処理計画」に基づき、県と市町村が連携して、下水道等と合併処理浄化槽のベストミックスを推進する。同時に、広域化・共同化を進め、より効率的・効果的な普及率向上施策を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
81.8	82.6	83.1	84.2		
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 44 公共用水域環境基準値達成率（河川：BOD※75%値）

●現在の状況及び課題
汚水処理施設の整備などにより、令和3年度末時点では指標の進捗は順調に推移している。
汚水処理施設の整備は、公共用水域の水質に影響する要因の一つであるため、引き続き、整備・管理を推進する必要がある。
(現状値：85.0%／目標値：85.0%)

●今後の取り組み予定
生活排水の川などへの流入に起因する水質悪化を防ぐため、県と市町村が連携し、更なる汚水処理施設の整備や広報を推進することで、公共用水域の水質を改善していく。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
85	82.5	85.0			
	R7	R8	R9	R10	R11

